



持続可能な  
まちづくりを共に。



# みよしSDGs

三芳町では、持続可能なまちづくりを推進し、  
明るく豊かな未来を築く為、  
SDGsの達成に向けて取り組んでいます。



# 循環型の伝統農法

低炭素・環境保全・自然共生



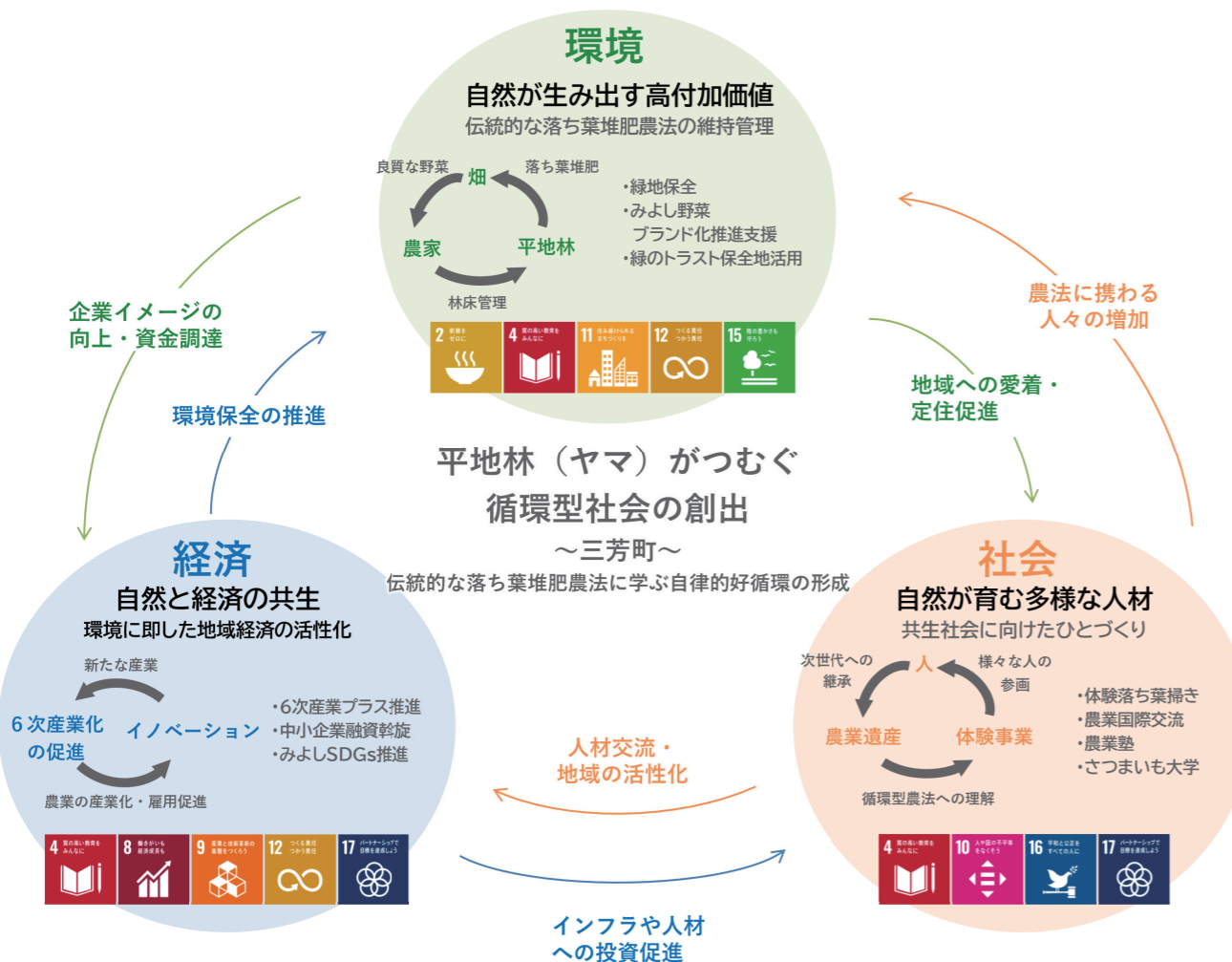
## 武蔵野の落ち葉堆肥農法

江戸時代、荒野が広がる武蔵野の台地に作物を作るため、人工的に木を植え、地下水を豊かにし、平地林として育てました。枯れた落ち葉を堆肥にし、土壌改良がなされました。約320年前から続くこの農法は「武蔵野の落ち葉堆肥農法」と言われます。

当時の農村計画をもとに、屋敷地、畑地、平地林が一組として開発された独自の事例が、大都市近郊という環境下で今なお受け継がれているのは珍しく、平成29年3月日本農業遺産に認定され、現在、世界農業遺産に申請中です。

## 循環型社会の創出

三富地域の落ち葉堆肥農法は、この先も持続可能な環境を作り、エネルギーを循環させていくためにも重要な取り組みといえるでしょう。三芳町では、こうした環境面での循環を経済や社会へ波及・展開させることを目指し、SDGsへの取り組みを推進しています。



# 未来につなぐ みよし SDGs

320年前から伝わる循環型農法が息づく町。私たちの故郷「地球」のためにできることが、この町にもあります。歴史に学び、未来につなぐ持続可能な社会を実現するため、みよしSDGsのまちづくりを進めています。

## みよしSDGsのまちづくり宣言

三芳町は、300年を超えて継続されてきた三富地域の循環型農業や平地林が残り持続可能な発展という思いが根付く町です。自然の生態系を生かした環境に優しい農業が受け継がれ日本農業遺産にも認定されています。

町では、SDGsが示す17の目標に挑戦し、町の特性・資源を活かし、人や環境に優しい持続可能な地域を作りたいと考えています。町の総合計画は、SDGsの理念や将来像とまさに考えを一つにするものです。

SDGsの実現に向け、企業、団体等地域の多様な主体とのパートナーシップにより、グローバルな視点で考え、経済・社会・環境の好循環が生まれる持続可能なまちづくりを推進します。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、行動することを宣言します。

三芳町長  
**林 伊佐雄**

# これからのまちづくり

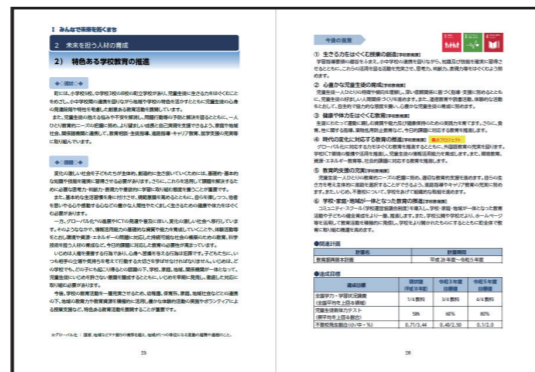
## 三芳町第5次総合計画後期基本計画

将来像に「未来につなぐ ひと まち みどり 誇れる町」を掲げる第5次総合計画では、その基本理念に「持続可能なまちづくり」を位置づけています。みよしSDGsのまちづくり宣言を受け、令和2年度から後期基本計画に、すべての施策にSDGsの達成目標を示しました。

これは、町が取り組む事業がSDGsの達成に貢献することはもとより、住民や企業・事業所の取り組みが、自らの住む地域だけでなく、世界規模に貢献できる取り組みであることを認識していただくことも目的としています。

第5次総合計画SDGsとの関連表

SDGs	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1.1 貧困の撲滅																	
1.2 公平な所得分配																	
1.3 持続可能な生産・消費の促進																	
2.1 食料・栄養の確保																	
2.2 持続可能な農業の発展																	
2.3 農村地域の持続可能な発展																	
2.4 農村地域の持続可能な発展																	
2.5 農村地域の持続可能な発展																	
3.1 健康と長寿の促進																	
3.2 精神的健康の促進																	
3.3 感染症の撲滅																	
3.4 がんなどの主要な疾病の撲滅																	
3.5 薬物乱用防止																	
3.6 水の衛生と安全管理																	
3.7 安全なエネルギー																	
3.8 健康増進・保健医療																	
3.9 交通事故の減少																	
3.10 感染症の撲滅																	
3.11 感染症の撲滅																	
3.12 感染症の撲滅																	



## さらなる持続可能なまちを目指して

新たな時代のまちづくりへのパラダイムシフトとして、「(仮称)みよしフォレスト・シティ構想」の策定に向けて取り組んでいきたいと考えています。

# ForestCity

### 【構想のポイント】

- 1 プラネタリー・バウンダリーに基づくSDGsのまちづくりの推進
- 2 三芳町の歴史・文化・自然・産業等を活かしたまちづくりビジョン
- 3 未来の都市計画に「ガーデンシティ (田園都市)」構想を



# 共生社会の実現を目指して

三芳町では、手話言語条例の制定、あいサポート運動など、誰もが自分らしく安心して暮らすことのできるまちづくりに取り組んできました。町全体で、障がいの有無、性別、国籍、人種、年齢等に関わらず、お互いの人権や尊厳を大切に、多様性を認め合う社会の実現に向けて様々な事業を展開しています。

## あいサポート運動

多様な障がいの特性、障がいのある方が困っていること、必要な配慮などを理解して、ちょっとした手助けや心くばりを実践できる人を増やし、誰もが暮らしやすい地域社会を皆さんと一緒に作っていく運動です。特別な技術は必要なく、「あいサポーター研修」を受けることでサポーターになることができます。

あいサポート運動についてはこちら

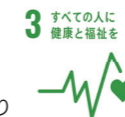


## 映画スタートラインの上映

耳が聞こえない映画監督、今村彩子さんが自転車で日本を縦断する自身の姿を描いたドキュメンタリー映画「スタートライン」。共生社会を考えるヒントになればと公民館や町ホームページで上映・配信されました。



広報みよし 令和2年8月号より



## 三芳町パートナーシップ宣誓制度

令和3年4月にはLGBTQ+のカップルが相互にパートナーであることを宣誓し、町が証明する「パートナーシップ宣言制度」が導入されました。



宣誓制度についてはこちら



## 三芳町×マレーシア

平成29年にマレーシア ペタリングジャヤ市と姉妹都市提携を結びました。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、マレーシアパラリンピック選手団の大会直前キャンプ受け入れによる選手との交流や、心のバリアフリー及びユニバーサルデザインのまちづくりに取り組む自治体として、令和2年3月、マレーシアのパラアスリートと手を結んだ共生社会ホスタウンに認定されました。三芳町とマレーシアは30年以上、文化や教育などで交流を続けてきました。

## 三芳町×オランダ

平成30年4月、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において三芳町がオランダのホスタウンとして登録されました。町内でトレーニングキャンプが行われた際には、小中学校へ選手が訪問し、オランダ料理の給食を一緒に囲みました。また、国際理解を深めるため、中学生の海外派遣を行っております。異国の歴史や文化に触れることで、新たな発見を促し、国際化社会で次世代を担う子どもたちの育成に努めています。





# みよしSDGs宣言団体の紹介

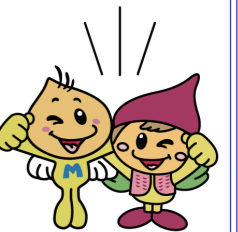
SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、17のゴール・169のターゲットから構成された国際目標です。地球上の誰一人取り残さない社会の実現するため、三芳町も目標に向かって取り組みを進めています。

SDGsの目標達成のためには企業・団体の協力が不可欠であると考えています。そこで「みよしSDGs宣言制度」を発足し、町内で活躍する企業・団体とのパートナーシップで目標達成に向かって取り組みます。

三芳町と共にSDGsの目標を達成することを宣言していただいた企業・団体を紹介します。

## みよしSDGs宣言制度とは

令和3年7月三芳町で活躍する皆さまに、SDGsにおける目標を掲げ、取り組みを宣言いただく、SDGs宣言制度を発足しました。町全体の機運醸成を図り、一丸となって持続可能な未来を実現するため、宣言団体を募集しています。



## 企業・団体 × SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS MIYOSHI TOWN

### 段ボールを通して循環社会の創出



有村紙工では環境に優しい段ボールという資源のご提供を通しSDGsへの取組支援を積極的に行っております。段ボールは使用後また段ボールに生まれ変わるリサイクルの王様と言われる程、環境に優しい素材。有村紙工では災害時用の段ボールベッド、パーティション、トイレ、椅子など様々な物を段ボール素材にてご提供しております。特に緊急時等で使用された物は直ぐ廃棄処分されますが、段ボールは古紙回収され、また段ボールになります。段ボール資源を通じて廃棄物、排ガス排水の発生などを削減し、地球環境に貢献し続けることが使命と感じます。今後も段ボールに置き換え出来る物は段ボールでご提案し、ご提供し続けることにより一層取り組んで参ります。



#### 株式会社 有村紙工

事業内容：段ボール製品の製造販売  
紙器製品、梱包資材全般販売  
所在地：上富 844-2

### 人も自然も多様性 暖かい食卓を未来に



「人と自然が共に豊かになる食卓」となるように、農業、肥料を使わない自然栽培のお野菜や加工品を提供しております。障害、年齢に関わらず一緒に作業をしております。農的暮らしが営める環境、技術、繋がりが持てるような居場所となる農園であり続けたいと思います。今後はお米も栽培して、農園の仕事をお手伝いいただいた方たちにも食べることを提供して、多様な人や生き物の居場所になり、そこから暖かい食卓を囲めるコミュニティになれたらと思います。食えることができる居場所が、貧困や学習支援、出産、育児など暮らしにまつわるお困りごとを、隣で一緒に考える関係が、自然と生まれる場を目指しています。



#### 明石農園

事業内容：自然栽培の野菜や穀類、加工品の栽培から販売。個人宅配で自ら配達、発送も。農業体験スクールの農業指導を行い、味噌作り体験、もぎ取り体験なども提供。  
所在地：竹間沢 231-7

持続可能なまちづくりを共に。

## みよしSDGs

三芳町では、持続可能なまちづくりを推進し、SDGsの達成に向けて取り組んでいます。明るく豊かな未来に向けて私たちが三芳町とともにSDGsの達成に向けて取り組んでいきます。

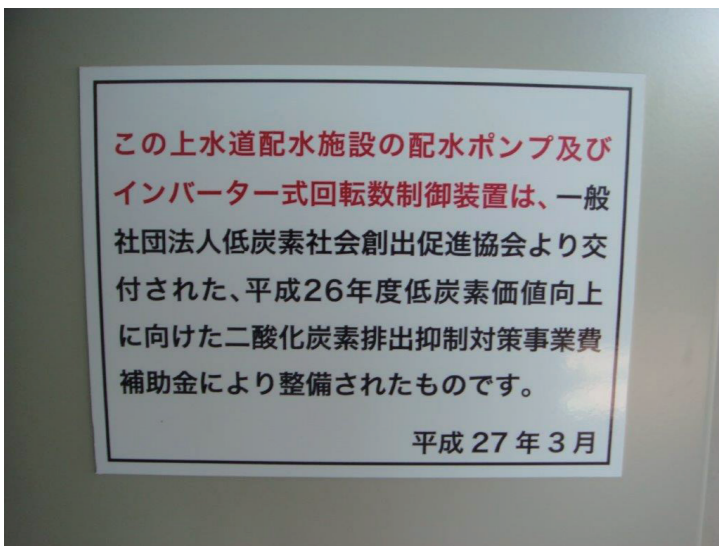
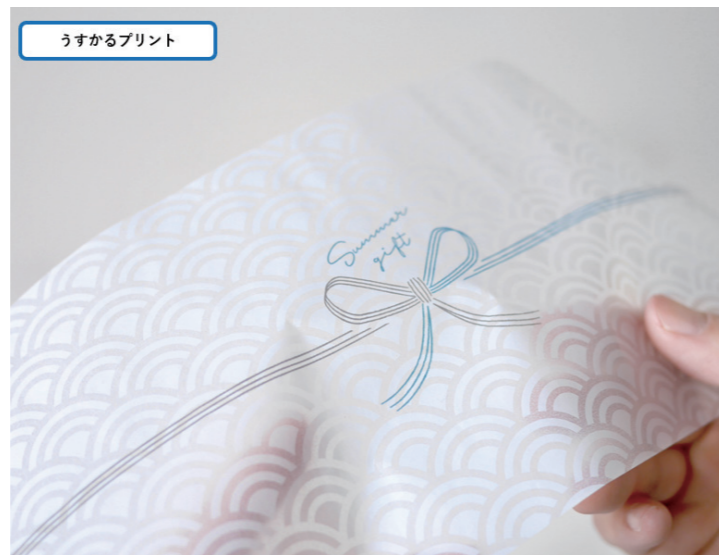
<SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標>  
2015年に採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人取り残さないという考えのもと、すべての国や地域が取り組むべき国際目標です。

### みよしSDGs宣言 随時募集中



17 パートナーシップで目標を達成しよう





## 生活を豊かにする インフラ整備活動



当社にとって、経営理念である「豊かな人間環境の創造を目指して社会に貢献する」ことの実践が、SDGsへの貢献に通じる取り組みとなります。

環境ソリューションを提供する会社として、持続可能な地球環境の構築のために努力することは、常に意識しなければならぬ心構えであり、企業の存在意義を果たし、企業価値を高めるうえでも重要な目標となります。

三芳町浄水場に納入させていただいた上水道配水施設の配水ポンプ及びインバーター式回転数制御装置は二酸化炭素の排出量を抑えることで地球温暖化の抑制に配慮したものとなっております。

快適で安全な暮らしを支えるうえで欠かせない社会的インフラ整備を行うことで、今後もSDGsに取り組みまいります。

## 環境配慮の薄紙印刷で 持続可能な社会を



環境認証を複数持つ印刷工場として、軽量薄紙製品の製造と開発に取り組み、環境に配慮した印刷物の製造を通じて、持続可能な社会の実現に向けて躍動していきます。

原料となるパルプの使用量が少なく、CO2の削減にもつながる、軽量薄紙印刷は大手企業様からも信頼を頂いており、2021年4月には少数数から気軽に軽量薄紙印刷をご利用いただける「薄紙印刷通販 うすかるプリント」のWeb通販を始めました。

また、働き方改革への積極的な取り組みや、再雇用・産休育休・キャリアアップ制度等の整備により、従業員の働きやすい環境づくりも積極的に進めています。

「環境」にも「人」にもやさしい事業活動を通して、地域と共に更なる発展を目指しています。

## 人に優しい豊かな 地域社会を目指して



JAいるま野三芳支店では、人に優しい豊かな地域社会の実現に向けて、地域貢献活動の一環としてSDGsに取り組みんでいます。

今回のSDGsの取り組みでは、三芳町を通して、生活困窮者や子ども食堂へ「家庭で眠っている食品」と「三芳町産農産物」の提供をさせて頂きました。家庭で眠っている食品を有効利用する事により食品ロスの削減に繋がります。「飢餓ゼロ」や「つくる責任つかう責任」の目標達成に。また、三芳町産農産物の提供により、地元産野菜の美味しさを理解してもらおう事で都市農業の振興に繋がります。「陸の豊かさを守ろう」の目標達成を目指しています。

JAいるま野三芳支店では、引き続き地域貢献活動に取り組みんで参ります。

## ゼロウェイストで 循環型社会を創る



当社は、ゼロウェイストを追求し、環境(Planet)・社会(People)・経済(Profit)のトリプルボトムラインに取組んでいます。

環境として、武蔵野の美しい雑木林を保全再生し(SDGs15)、地域へ自然と交流する場を提供しています。また、日本農業遺産に登録された落ち葉堆肥農法を継承しています。

社会として、社員のウェルビーイングを考え、働きやすく働きがいのある職場創りに努めています(SDGs8)。また、施設を一般公開し、エクスカーション型見学会により、持続可能な社会を支える人材づくりを支援しています(SDGs4)。

経済として、解体された家屋を再資源化し未来へ繋げていきます(SDGs12)。



### 荏原実業株式会社 関東支社

事業内容： 預上下水道施設等の公共インフラ整備の他、独自製品の開発・販売、各種産業機械の販売を行っています。  
所在地：さいたま市浦和区岸町7-1-4



### 岩岡印刷工業株式会社

事業内容： 印刷物・Webの制作、印刷、加工から、全国発送業務、保管など～薄紙印刷通販うすかるプリント～  
所在地：北永井宮前157-3



### いるま野農業協同組合 三芳支店

事業内容： 信用事業・共済事業・経済事業・営農生活相談事業  
所在地：北永井358-1



### 石坂産業株式会社

事業内容： 建設廃棄物の中間処理及び資源化事業、体験型環境教育支援事業  
所在地：上富線1589-2



## 繋げよう 人と大地の実り



鈴兼米穀では、持続可能な社会の実現のために『繋げよう人と大地の実り』を合言葉に、農業と商業を繋ぐ企業として経済活動を行い、その中でSDGsの取り組みを推進しています。

例えば、一度使用した米の紙袋を農家へ無償提供し、弊社に出荷する米への使用を推奨し、リユースに努めています。

また、精米時に発生する米糠を廃棄することなく、地域農家の堆肥作りの為に販売し、循環型農業の一端を担っております。

社員一人一人が食に携わる者として、高い志と情熱をもって、日本食の柱である米の消費を守る事、米を食べる事で健康を感じられる商品開発などに挑戦し、日本の食文化を守り続けることに寄与して参ります。



### 鈴兼米穀株式会社

事業内容：飲食店、給食施設、病院などに業務用のお米を販売しています。栄養価の高い胚芽精米の普及にも努めています。  
所在地：北永井 829-2

## 新星が創る三芳町の 交通安全社会づくり



新星は、二輪・四輪の開発部品やレーズ部品加工、製造装置設備の重要機能部品加工を行っている会社です。

当社の願いは、携わった部品を搭載するオートバイや自動車による交通事故をこの社会から無くすことです。

三芳スマートICや生産・流通拠点の整備等によって将来的に交通量増加が懸念される中で企業・事業所の視点から、三芳町の交通安全・安心社会の確立に貢献するためにふたつの活動をスタートさせました。

①既にある「三芳安全マップ」を社員全員で踏査確認し、改善や注意すべきポイント・路線を発見します。

②自治体や学校、小売店、企業と情報を共有して安全運転を促すとともに、三芳町の交通安全・安心社会づくりのアイデアを募集します。



### 株式会社 新星

事業内容：二輪、四輪自動車の開発部品及びレーズ部品加工・製造装置設備の重要機能部品加工・リパースエンジニアリングによる部品設計  
所在地：上富 2036-1

## 円滑な資産承継と フードドライブ



当社では未来につながる活動・サービスの提供に取り組んでおります。

2021年12月には鶴瀬支店、上福岡支店、みずほ台支店、ふじみ野支店合同でフードドライブ活動に取組み、子ども支援団体への贈呈を行いました。

また、遺言書作成の事前相談から相続開始後の手続（執行）までを一貫して銀行に任せられる「遺言信託」や、大切な資産を「まもる（資産管理）」、「つかう（つなぐ（承継）」機能を持つ「マイトラスト」を通じて、多くの方々の資産承継をサポートしております。

※マイトラスト、ハートトラストはりそな銀行の信託代理店として取扱っております。



### 株式会社 埼玉りそな銀行 鶴瀬支店

事業内容：金融サービス業  
所在地：富士見市鶴馬 2597 番地 2

## 豊かな地域社会 創造への貢献



埼玉縣信用金庫では、当金庫の長期ビジョンである「埼玉に生きる人誰もが、生き生きと活躍できる社会への実現」に向けて、豊かな地域社会創造への貢献を図り、「地域社会の発展」当金庫の発展」という好循環を実現するべく、SDGsの推進に取り組んでおります。

三芳支店では、太陽光発電設備を導入しており、二酸化炭素排出削減に努めております。

また、美しい道路環境づくりを推進する取組みである「彩の国ロードサポート活動」に参画しており、街の美化に努めております。

今後、三芳町、三芳町商工会と相互連携・協働による活動を推進し、市民サービスの向上及び地域の活性化に貢献して参ります。



### 埼玉縣信用金庫 三芳支店

事業内容：金融業  
所在地：藤久保 275-18



**TAIYO YUDEN**  
 太陽誘電モバイルテクノロジー株式会社

**Road to No.1**  
 技術力・商品力 No.1

Quality First (品質第一)  
 Challenge for the Realization (具現化への挑戦)

すべてのステークホルダーから信頼され、感動を与えるエクセレントカンパニーへ

TAIYO YUDEN



## 持続可能な社会づくりに貢献



T & K TOKAは、TOKAグループ企業行動憲章に、「イノベーションを通じて社会に有用で安全な商品・サービスを開発、提供し、持続可能な経済成長と社会的課題の解決を図る。」ことを定めています。

私たちは、環境性能に優れたインキで印刷業界のニーズに応えるとともに、働きがいのある職場づくり、地域社会との共存など、SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえた経営を通して持続可能な社会づくりに貢献していきます。

## 人と資源を大切に地域活性を目指す



私たち株式会社武田工務店は三芳町で昭和43年に創立して以来、家族で力をあわせて運営してきました。地域密着型工務店としてこれからもまちの人々の快適な暮らしや住まいを守る為、SDGsの推進に取り組んでおります。

私たちにとって、木はとても大切なものです。そのため、端材を新にして配布したり再利用して雑貨を作ったり積極的に活用し、木を少しでも無駄にしないよう努めております。

また、三芳町初の屋内スケートボードパークの運営や地元の方のハンドメイド作品や野菜等が出店される「手づくり市」の実施など、建築業以外にも地域活性化に力を入れております。

暮らしからスポーツ、カルチャーまで幅広い分野で持続可能なまちづくりを進めてまいります。

## 持続可能な社会基盤の実現へ



太陽誘電グループの一員である太陽誘電モバイルテクノロジー株式会社では、持続可能な社会基盤の実現を築く為SDGsの推進に取り組んでおります。今年度は特に環境への負荷低減活動に注力しており、所沢工場では、水使用量の削減を目的とした排水リサイクル設備を導入し、資源の効率的な利用を行っております。

また、社会貢献活動として、寄付・献血・清掃等の活動も継続して行っており、今後も実施予定です。

安全衛生活動にも注力しており、事故等を未然に防止する活動を通して、従業員が安心して働ける職場を実現しております。

持続可能な社会基盤への実現に向け、また、三芳町より明るく・豊かな未来を築くために、今後も積極的にSDGsへの取り組みを推進してまいります。

## 豊かな社会と明るい未来の実現へ



大東ガスでは、「豊かな社会と明るい未来の実現」を明確なビジョンと位置づけ、SDGsへの取り組みを行っております。

環境にやさしいクリーンなエネルギーである都市ガスをお客さまにお届けするとともに、社屋などの自社施設で使用するエネルギーについて、CO2排出量が実質ゼロとなるカーボンニュートラル都市ガスやCO2フリー電力を採用し、CO2の排出削減に取り組んでおります。

また、地域の清掃活動や防犯パトロールなどの社会貢献活動に積極的に取り組んでおります。

今後も、地域のお客さまとの絆を大切にし、お客さまに快適な生活をお届けするため、SDGsへの取り組みを推進してまいります。



### 株式会社 T & K TOKA

事業内容：印刷用インキの開発・製造・販売他  
 所在地：竹間沢 283-1



### 株式会社 武田工務店

事業内容：建築業（新築・増改築・リフォーム・内装工事・外装工事）  
 地域活性事業他  
 所在地：上富 1911-4



### 太陽誘電モバイルテクノロジー株式会社 所沢工場

事業内容：5Gに代表される最先端のスマートフォンを支える通信デバイスを開発から製造までを一貫体制で提供しています。  
 所在地：竹間沢東 1-1



### 大東ガス株式会社

事業内容：都市ガス事業・電力小売販売事業  
 ガス工事、ガス器具・住宅設備機器の設置、販売など  
 所在地：藤久保西 1081-1



## 長く住み続けられる 住まいづくり



- ・高効率機器を取り入れることでエネルギーの消費を抑えることができます。
- ・住まいが充実することで住み慣れた町、家で長く住み続けることができます。
- ・既存住宅を改修するというリフォームの特性を生かし、ごみの排出量を抑えます。
- ・窓などの断熱性能を上げることで、CO2排出量を抑えます。



## 豊かな自然環境 次の世代に継承する

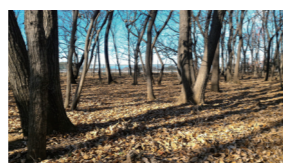


早川園は、三芳町の上富地区で九代続く農家です。夏には「とうもろこし」、秋には「富の川越いも」や「さといも」を生産し直売をしています。

三富地域は、武蔵野の落葉堆肥農法が日本農業遺産に認定されました。当園でもその農法が代々受け継がれ、現在も1月から2月にかけて雑木林(ヤマ)で落ち葉を掃き集め1年から2年の歳月をかけて堆肥化し、畑に散布しています。落葉堆肥農法は、環境の保全・動植物の保護をしながら持続可能な循環型の社会を実現する為に有効な取組みだと考えています。

また、農産物直売時に利用するレジ袋は、「再生可能な植物由来の資源を原料にした」バイオマスプラスチック使用のものを積極的に利用してCO2を削減することで、地球温暖化問題の解決の一助になるのではと考えています。

こうした活動が広がっていくことを願い、今後もSDGs目標達成への取組みを継続していきたいと思えます。



### 早川園

事業内容：農産物の生産・販売  
所在地：上富61



## 安心して暮らせる 地域社会の構築へ



企業理念である『人と地域により添い、笑顔あふれる生活を支えます』をテーマに社会インフラであるLPガスの安定供給及び安心して暮らせる地域社会の構築に向けてSDGs推進に取り組んでおります。

『持続可能なまちづくり』を目指し、一般家庭の皆様への安全・安心・安定的な供給はもちろんのこと、災害に強い分散型エネルギーであるLPガスの特性を活かし、公共施設などへの災害用バルクや炊き出しセットの設置、太陽光発電屋根貸し事業を推進するとともに、SDGsへの貢献をしております。



### 東上ガス株式会社

事業内容：LPガス供給及び住宅機器販売  
電力の供給及び販売太陽光発電システム及び蓄電池販売  
所在地：上富1943-4(埼玉西部支店)



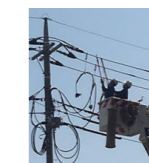
## EVの活用等による レジリエンス強化



東京電力パワーグリッドは、日々の電力安定供給に加え、激甚化する災害に對しての復旧対応力を高める等、レジリエンスの強化に取組むとともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、業務車両のさらなる電気自動車導入や再生可能エネルギーを導入する取組みなどを支援しています。

今後、三芳町のレジリエンス強化やカーボンニュートラルの実現に向けて、電気自動車の活用や再生可能エネルギーを導入する取組み等を支援して参ります。

また、三芳町の環境教育や防災イベント等への協力による啓発活動を行います。



### 東京電力パワーグリッド株式会社

事業内容：一般送配電事業・日々の電気を止めることなく、安全に、確実にお届けします。  
所在地：志木市幸町1-8-50



### ハヤシ設備

事業内容：住宅リフォーム・リノベーション  
ガス機器設置工事  
水まわり機器設置工事  
所在地：藤久保12-42



## 伝統農法で育む 大地の恵み



三芳町川越いも振興会は、武蔵野の面影を今に伝える上富の地で、江戸時代から続く、平地林の落ち葉堆肥を使った伝統農法によりサツマイモを栽培しています。平成27年第54回農林水産祭むらづくり部門では、天皇杯を受賞しました。平地林は二酸化炭素を吸収・固定し地球温暖化の防止に貢献、落ち葉や枯れ葉は燃やさずに堆肥にして分解することで一酸化炭素やメタンガスの放出を防止します。また、収穫体験イベントや、体験落ち葉掃きなどを通して地域の活性化を促し、都市農業交流や環境教育の面でも成果を上げています。360年続く「落ち葉堆肥農法」をこの先も継承することはもちろん、このような環境面の循環を経済や社会へ波及・展開させ、魅力ある持続可能なまちづくりの実現に向けて取り組みます。



### 三芳町川越いも振興会

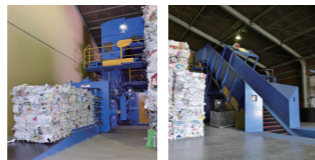
事業内容: サツマイモのPR及び生産技術向上、農業後継者の確保及び農業経営の安定に関すること、消費者との交流に関すること  
所在地: 三芳町役場観光産業課(事務局)



## 出版物の廃棄処分と 障がい者就労支援



株式会社マンモスエコロジーでは、弊社三芳所沢センターの一部を地域の障がい者支援団体の施設外就労の場として提供し、出版物を廃棄処分する過程で発生する「古紙」と「それ以外の付属品」を分別する作業を積極的に依頼させて頂いています。弊社での施設外就労の経験により、障がい者の一般就労の機会が少しでも増えればと思い、日々活動を行っています。出版物をはじめとする廃棄処分をご依頼頂いた商品から、資源物を積極的に取り出し、再生利用することで、廃棄物の発生を大幅に削減します。また、地域で発生するダンボール古紙、新聞古紙、雑誌古紙等も弊社三芳所沢センターで積極的に受け入れ、リサイクルすることで、CO2の排出抑制に日々努めています。



### 株式会社マンモスエコロジー

事業内容: 古紙卸売業  
産業廃棄物収集運搬業  
一般貨物自動車運送事業  
所在地: 上富1445-1



## そのままの自分で いられる場づくり



活動の目的は食と自然を通して、地域住民と関わり、世代を超えて支え合いながらのびのびと豊かに過ごすことができる交流や環境作りを目的としています。「1/4の奇跡」という福利関連の上映をきっかけに、会が始まりました。その後、お豆腐作り体験や雑木林の演奏会などを企画し、いずれも車椅子の方、医療的ケアの必要な子ども達、盲目の方など、障害に関わらず参加できる配慮をしたイベントや体験会を行なってきました。今後はさらに日々の暮らしに近いところで、農と食と芸術と福祉を融合させたイベントや体験会を行なっていきたいと考えています。ありのままの自分でいられる空間と場づくりに、取り組んでいきたいと思っています。



### ブルースカイ王国

事業内容: 食に関する体験イベント、講演会や上映会、環境保全や活用、福祉活動・芸術、農と食、福祉のそれぞれの分野が連携して、落ち着いた暮らせる地域の居場所作り  
所在地: 竹間沢231-7



## 将来の地域社会発展 を担う人材の育成



飯能信用金庫では、「教育の充実」をきっかけに住民一人一人の豊かな未来を実現し、成長し続け安全で安心して暮らせる社会の充実を目指します。奨学金の取り組みは、信用金庫のビジョンと親和性があり、相互扶助を目的とする信用金庫の使命を果たし、将来の地域社会の発展を担う人材の育成を応援します。



### 飯能信用金庫 三芳支店

事業内容: 預金業務・貸出業務・為替業務・証券業務・保険募集業務付帯業務  
所在地: 藤久保968-6



### 株式会社石川興業運輸

働きやすい環境づくりに努め、地球環境に優しい運転を心がけています。



### 株式会社イーホー

温室効果ガスの排出を削減する取り組みを強化し、緑と生物多様性の大地を守る。また、生産的な雇用と働き甲斐のある人間らしい雇用を促進します。



### 大崎電気工業株式会社 埼玉事業所

当社の ESG 活動が SDGs (ゴール) につながるよう努めます。



### コープみらい 埼玉西部ブロック委員会

人と人とのつながりや居場所づくりを進め、お互いに助け合えるあたたかな地域社会をつくります。



### 三協測量設計株式会社

持続可能な地域社会づくりに貢献していきます。



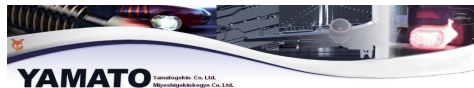
### 株式会社出版産業

社会的課題の解決と経済発展の両立を図ることで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



### プラス株式会社

CO2 排出量削減と脱プラスチックの推進をします。



### 三芳合金工業株式会社

女性や高齢者が働きやすい職場環境作りを行います。積極的に CO2 削減を図ります。新エネルギー分野の実用化を支援します。製造過程で生じた副産物 (切粉他) のリサイクル率向上を目指します。



### 三芳郵便局

社員が働きやすい労働環境を整え、時間外労働時間を前年比100%以下にします。

### 三芳北永井郵便局

私たちは環境にやさしいサービスを三芳町のみなさんに提供します。

### 三芳みよし台郵便局

誰もが働きやすい職場環境を整え、地元地域に貢献できる質の高い商品サービスの提供に努めます。

みよしSDGs宣言制度にご登録いただいた皆さまから、三芳町が持続可能なまちづくりを進めていくなかで、特に優れた取り組みをおこなわれている団体をみよしSDGsアワードとして表彰してまいります。



## 「食」でつながる 地域共生・共育の場



孤立する子どもや、子育て家庭が減ることを願って「地域のリビング」をコンセプトにみんなの居場所づくりを事業として行っています。  
「子ども食堂」は「貧困対策」が主軸のように言われることもありますが、当活動では食事や物資の支援だけではなく「つながり」を提供しています。地域の大人や学区や年齢、性別を超えている人々が関わりあうことで、子どもたちは価値観を広げ人生の選択肢を増やしていくことができます。  
同時にこの活動を通して、フードロス対策、子育てしやすいまちづくり、地域のパートナーシップによってさまざまな体験活動なども行うことができます。(農体験も事業には含まれます)。「誰一人とのこさない」という思いは子ども食堂の活動に共通しています。



### 特定非営利活動法人れいでいばーど

事業内容：三芳おなま子ども食堂運営  
三芳おなま農縁(畑事業)  
子ども向け体験講座事業 等  
所在地：北永井 704-9

## 絆・愛・感動を基に 笑顔溢れる社会へ



メデイカルライフケアでは「医療・看護・介護との連携」と「地域との連携」を推進し地域に貢献すべく活動しています。地域の方々に感謝し、地域社会の一員として行動し、開かれた施設として地域との交流や市民活動団体等との積極的な取り組みを行っています。  
住み続けられるまちづくりの取り組みとして「子ども食堂の運営」、ジェンダー平等や働きがい、人や国の不平等をなくすための取り組みとして「外国人労働者の雇用促進」、「女性職員が継続就業できる労働環境の整備」を行い、様々な立場の方が弊社を通じて笑顔になれるよう活動しています。  
弊社の企業理念である「絆・愛・感動」を基に、地域の皆様に愛される施設づくりをしていきたいと思っています。



### 株式会社メデイカルライフケア (みよし悠生苑)

事業内容：老人福祉施設・保育園の運営  
所在地：神奈川県平塚市南原 2-1-12

◇対象◇ 町の職員

町の職員には三芳町第5次総合計画を着実に進める責務を負っています。後期基本計画の施策はSDGsの達成につながることを意識し、職務に取り組まなければならないものとなります。町では、研修を通じて、職員の意識の醸成に取り組んでいます。



普及啓発活動

みよしSDGsを広く拡散することを目的に、普及啓発品を作成しています。宣言制度への登録、事業への参加いただいた方をはじめ、様々な場面で配布し、SDGsの機運を高めます。



ヒノキの間伐材を使用したしおり



オンラインで開催された淑徳祭(淑徳大学)にて、SDGsの取り組みを発信



FacebookにてSDGsに関する情報等を発信しています  
三芳町政策研究所(未来創造みよし塾)

みよしSDGs事業

みよしSDGsの取組の輪を広げるため、みよしSDGs宣言制度のほかに、講演会やイベントへの出展、普及啓発活動など、各種の事業を展開しています。一つひとつの取り組みを繋ぐ機会を創り出し、未来につなぐ力を育てていきます。

◇対象◇ 住民

私たちの地球を守り、未来を創ることは、すべての人に関係するものです。一人ひとりの力は小さいと思うのではなく、一人ひとりから始めることに目を向けなければなりません。みよしSDGsでは、子どもたちから大人まで、気づきが生まれる機会を創出していきます。



◇対象◇ 町内企業・団体

三芳町には昼夜間人口比率が県内市町村で1位(平成27年国勢調査)という特徴があります。これは事業所の数が多く、多くの人が働きに来ていることとなります。みよしSDGsでは、企業・団体の皆さまの力が大きな推進力になります。



## 🌍 貧困や飢餓を無くすために

- ・国際的な貧困に支援する（ユニセフ・国境なき医師団・ネパール支援等）
- ・無農薬やオーガニック、フェアトレード、MSC 認証など、環境問題や貧困解決に配慮した食材や洋服、製品をなるべく選択します
- ・自分ではできない分野で活動している団体を寄付などで支援します

## 🌍 エネルギーをクリーンに

- ・電気の節約をするため、照明はこまめに消す
- ・外出する際には、コンセントを抜いている
- ・電源はこまめに切っただけ
- ・電気や水道のムダ使いをなくします
- ・クーラーの使用台数を減らします
- ・エアコンの温度を常に注意
- ・冷房は省エネで
- ・エアコンはサーキュレーターを併用して冷房、暖房の効率を上げて省エネに
- ・パソコン、職場、家庭内の節電に努めます
- ・太陽と共に起き、太陽が沈んだら寝ます（早寝早起きをします）

## 🌍 つかう責任を考える

- ・モノを大切に使いゴミの減量につとめます
- ・リサイクルに協力します
- ・未使用の食器、服などリサイクルに出す
- ・洋服は捨てずに譲る、リサイクルに出すなどなるべくゴミを出さない
- ・マイバッグを、持ち歩きレジバッグの消費削減に努めます
- ・マイボトルを持参し、プラスチック製品の削減につなげます
- ・マイはしを持ち歩く
- ・過剰包装品は避けます
- ・食品ロスをなくすよう心掛けます！
- ・残りものは早めに冷凍する
- ・エコやエシカル、フェアトレードの商品を選びます
- ・駅から歩いて通勤することでCO2 排出を減らします。また、歩いて健康を目指します
- ・CO2 排出量の多い交通手段は必要最低限の範囲のみで使用します
- ・仕事の資料は、印刷せずタブレットで対応
- ・週に一日だけ生産や輸送の過程で大量の水、CO2 を発生する肉を避けて、みよし野菜を中心とした菜食をすることで、資源を守り、動物の命を助け、健康な体を手に入れます
- ・環境に配慮した企業・商品情報の収集をし、優先的に使用します！！！！（最近では“ラベルレス”のものを購入）

## 🌍 住み続けられるために

- ・地産地消を推進し、地元（三芳町）産品を積極的に購入します
- ・みよし野菜を好んで消費します
- ・外国産食品はできるだけ購入しません
- ・地産地消やフードマイレージを考えた食卓を目指します！
- ・三芳町を大切に
- ・買物で地域を活性
- ・協働作業する
- ・リノベーションしたお店や施設に関心を持って訪問します



ひとりひとりの  
私たちがみんなが  
世界を大きく  
明るく豊かな三芳町の  
できることから



# わたしのSDGs宣言

展示会等で募集した、SDGs宣言をご紹介します。  
誰にでも簡単に始められることがSDGsの貢献につながります。

小さな行動でも、  
実践すれば  
変えることができます。  
未来のために…  
始めてみましょう

## 🌍 健康や教育をみんなに

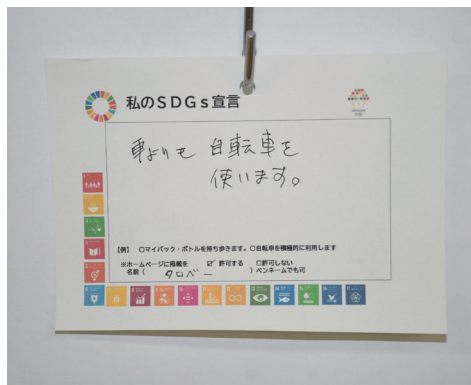
- ・地域の子どもたちと野球を行い、地域の活性化、教育に努めます
- ・こどもに様々な教育の機会を与えます（様々な資源や情報とのふれあいなど）
- ・家庭菜園を通して、子どもたちに食べ物の有難さを伝えていきます
- ・学校ボランティアなどに参加し、自分の子どもだけでなく、地域の子どもの教育に関わります

## 🌍 不平等をなくすために

- ・ジェンダー平等、常に意識、声をあげたい
- ・女性、男性だから、若いからと性別や年齢で役割を押し付けません。個人を見て判断します
- ・差別のない人権に配慮した社会の実現を目指して、様々な人権問題に関心を持つ
- ・国籍や性別によって、差別することや偏見を持つことが無いよう、相手を理解することに努めます
- ・家事分担を行っています

## 🌍 水資源を守るために

- ・風呂の残り湯は洗濯に使い、水の節約につとめます
- ・シャワーの時間は10分以内にします
- ・節水シャワーヘッドで水を出しっぱなしにしない
- ・新型コロナウイルス感染予防も兼ねて、パスタ入浴ではなく、家族全員が短時間のシャワー利用とします
- ・汚れた水は流さない
- ・水を大切に使う
- ・釣りに行った際に気づいたごみを拾い、できるだけ仕掛けやルアーを無くさないようにします





# MIYOSHI SDGs



ZERO<sup>®</sup>  
CO<sub>2</sub>  
PRINT

VOC  
FREE<sup>™</sup>

FSC<sup>®</sup>森林認証紙、ノンVOC インキ (石油系溶剤 0%) など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、印刷事業において発生する CO<sub>2</sub>全てをカーボンオフセット (相殺) した「CO<sub>2</sub>ゼロ印刷」で印刷しています。



埼玉県ふるさと  
創造資金  
埼玉県のマスコット「コバトン」

発行 / 三芳町役場 2022年3月

制作 / 三芳町政策推進室

〒354-8555 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保 1100-1

TEL 049-258-0019